

④県立文化会館施設整備事業費 彩の国さいたま芸術劇場大規模改修工事

受賞機関 埼玉県 都市整備部

キーワード 時代とともに進化・成熟する劇場を目指した大規模改修工事

全建賞審査委員会の評価ポイント

老朽化した建物を丁寧に修復し、長寿命化を図るとともに、時代に適応し進化を続ける劇場を目指して大規模な改修工事を実施。音楽ホールの天井の耐震化では、3Dスキャナー点群データを活用し、音響特性を保持。天井形状の復元やダクト取り付け検討を効率化し、工期短縮を達成した点が評価された。

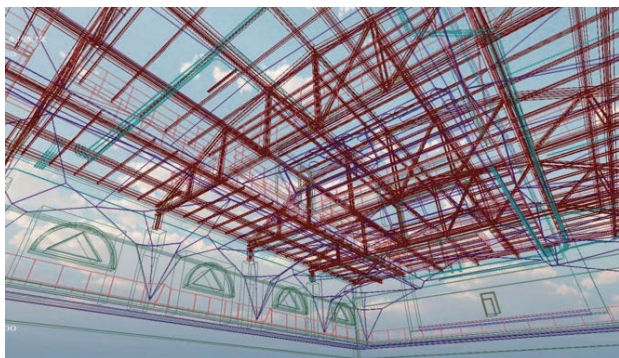
1. はじめに

平成6年に開館した彩の国さいたま芸術劇場は、4つの専用ホールと12の稽古場及び練習室、情報展示施設、資料室、カフェなどからなる複合施設で、市民グループにも積極的に開放されるなど、親しみやすさと活動の幅広さを兼ね備えた、首都圏におけるトップランナー劇場としての評価を得ている。

竣工から約30年、埼玉県の中長期保全計画に基づき、建物の長寿命化を図るとともに、時代とともに変化する劇場のニーズに対応するため、長期休館を伴う大規模改修工事を実施した。

2. 事業の概要

本事業で最も注力したのが、大ホール、小ホール、音楽ホール、大稽古場及び大練習室の5つの大空間天井の耐震化で、いわゆる「特定天井」の準構造化工事である。工事の難易度が特に高かったのが音楽ホールであり、定評のある音響特性を変えないように、3次元的な複雑形状の正確な復元が求められたため、レーザースキャナーを用いた3D計測を実施した。これにより得られた点群データは、天井形状の復元だけでなく、下地鉄骨の採寸、ダクトの取り付け検討など、工期短縮にも有効に活用できた。



レーザースキャナーによる3D計測の活用

3. 事業の成果

音楽ホールは、改修後の音響測定やリニューアルオープン後の演奏会においても改修前と同等、あるいはそれ以上の音響特性を得ることができた。

天井改修に代表されるように、今回の大規模改修は、天井裏や裏方の設備類、さらには舞台設備など、来館者が目にする更新箇所は限られるものの、当初掲げた3つの改修テーマ「安心」、「快適」、「充実」について、それぞれ十分に満足のいく改修効果が得られた。



改修後の音楽ホール
(改修前のデザインを継承しつつ安全性が向上した)

4. おわりに

本事業は、全17工事を統合する大規模改修工事であり、竣工から数十年を経た公共劇場が、現在そして未来へとその役割を引き継ぐための貴重な事業の一つといえる。

今後の彩の国さいたま芸術劇場の更なる発展が期待される。



改修後の前庭夕景（照明はすべてLED器具に更新した）

賛助会員 (株)安藤・間、島村工業(株)、正和工業(株)